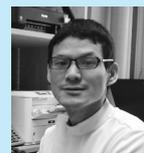


広報たのみ診療所

朝日診療所
医師 若山 隆



「胃カメラを再開します」

5月にコロナウイルスに対する全国の緊急事態宣言が解除されました。コロナウイルスの再流行には常に警戒が必要ですが、コロナを恐れて何もしないままというわけにも行かず、新しい日常に向けて少しずつ活動を再開することが必要です。

朝日診療所では今月から胃カメラ検査を再開します。口もしくは鼻からカメラを入れる検査であるため、鼻水、唾液などに暴露されやすく、感染予防対策に手間もかかり、ガウンやフェイスシールドといった資材も必要です。そのためたくさんの検査を行う事が困難であり、希望者全員に検査を行うことはできない見込みです。腹痛などの症状がある方や、胃潰瘍など消化器疾患の経過観察が必要な方などを優先的にやりたいと思います。胃カメラをご希望の方は、一度診療所を受診し医師にご相談下さい。

症状・消化器疾患のない方で、最近(ここ1-2年以内に)胃カメラを行って大きな問題がなかった方は、大変申し訳ありませんが当面の間は当診療所での検査をご遠慮下さい。

なお、会津地域でコロナウイルス感染症の流行が見られる際は、急遽胃カメラを中止しコロナウイルス対策に専念せざるを得ないのでその際にご容赦下さい。加えて、発熱や風邪症状のある方など特別な感染対策を要する方の診察と胃カメラを同時に行う事が困難です。そのため、胃カメラの検査を行う火曜日午前は発熱や風邪症状の方、コロナウイルス感染症の疑いのある方の診察をお断りし、午後に診察となります。

ご協力、何卒よろしくお願い致します。

■ ポイント ■

- ・胃カメラを再開する。
- ・胃カメラは検査数を制限する必要がある、腹痛などの症状がある方や、消化器疾患の経過観察が必要な方などを優先する。症状がなく、ここ1-2年以内に胃カメラを受けて大きな問題の無かった方は当面の間お待ち頂く。
- ・胃カメラは原則火曜日午前が検査予定日であり、胃カメラを実施する時間帯は発熱や風邪症状がある方(コロナウイルス感染疑いのある方)の診察はできない。

地域おこし協力隊として vol.66

移住定住支援協力隊
今関 真貴



「只見暮らし2年生」

只見に来て1年が経ちます。(冬は例年にない浅雪とのことでしたが…)あつという間に季節はひと回り。引越当日に頂いたご近所の美味しいレタスから始まり、以来トマトにキュウリに豆やナスなど畑のお野菜を日々贅沢に頂いてきましたが、この恵みは雪解け頃から畑の準備を重ねた結果の実りだったのだと、この春、朝な夕なせっせと働く町の方の姿を目にしてあらためてありがたく感じています。

さて、一方、協力隊としての私の業務は「空き家対策」です。この1年は主に空き家バンクの登録や問い合わせ

対応、ホームページへの物件掲載、チラシ作製など。他、空き家の外観調査やセミナーの開催、移住希望者向けの只見体験ツアーの添乗という楽しい業務もありました。「空き家」については調べ知り考える程に、とても奥が深く一朝一夕にはいかない問題であることに気づかされ、一步步順番に準備を重ねていくものなのだ実感しています。(畑の美味しい野菜も、個々の空き家の対策も、放っておいては進まない!)まだまだ一つ一つ学びながらの2年目ではありますが、空き家に関するご相談がありましたらお尋ねください。町下庁舎の地域創生課で受け付けています。